

## 紙媒体での入稿

## 部分データ入稿

## 完全データ入稿

### 手書き原稿・ 現像写真など

当社で文字を入力し、写真やイラストをスキャナーで取り込んだ後、編集します。

※右記と比べ、当社の作業工程が多く、完成までの時間・料金を要します。

### ダイレクト (直筆文字・イラスト)

お預かりの原稿をそのまま印刷します。(コピー感覚)  
(当社での編集作業無し)

※短時間・安価で済みます。  
※1色刷り・文字だけのものに向いています。  
※カラー原稿や写真、網かけ(グレー)部分のある原稿は劣化の可能性があります。

### Word・Excel・PowerPoint Jpeg .txt など

お客様が入力した原稿テキストやデジタルカメラのデータ、ご自身作成のWordなどのデータをお預かりし、それを基に当社で編集します。

※当社での入力工程が不要な為、左記より、短時間で初校をお渡し出来ます。  
※スマートフォンのメール機能等で入力した文字データも有効です。  
※データの状況によってはご期待ほど時短・料金に反映出来ない事があります。

### PDF (Illustrator・InDesign)

お客様ご自身作成の印刷に適した完成形のPDFデータをそのまま印刷します。  
(当社での編集作業無し)

※左記に比べ時間短縮・料金も抑えられます。  
※文字化けしたり、お客様のパソコン画面上やプリンター出力時に比べ、写真が暗い等の色ずれの可能性がありますので、必ず校正でご確認をお願いします。(下記 i ii 参照)

以下、ご注意ください。

直筆の文字等を印刷する場合スキャナーで取り込みますが、黄・水色等薄い色や鉛筆書き等、濃淡のはっきりしない原稿はうまく識別できません。ボールペン等黒1色の線画で書いたものをPC上で色をつける方が綺麗に仕上がります。

特にワード等オフィス系データのみ入稿の場合、次の不具合が生じる可能性があります。

#### i. フォント置換の可能性

お客様のPC内臓のフォントが、弊社にはない場合、正しく表示・印刷されません。

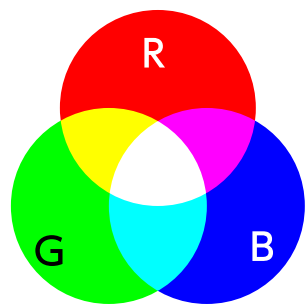
#### ii. 色の問題

ワード等では色の表現がRGBという考え方です。一方商業印刷はCMYKという考え方となり、表現できる領域が微妙に違うので、色がくすんで見えたりします。特にオフセット印刷の際、調整が必要です。(左記「◆色のお話し」参照)

#### iii. 画像が粗くなる問題

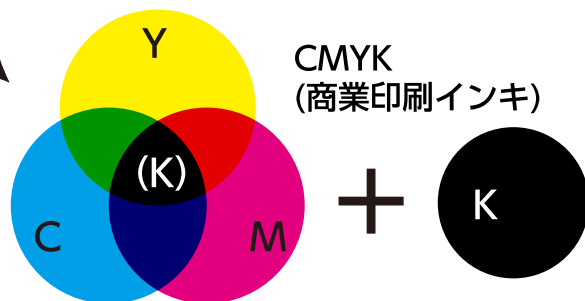
ワードに画像を配置し、何も設定せずに保存すると自動的に圧縮され、粗い仕上がりとなり、折角のデジタルカメラの高解像度が活かされないことがあります。なお、低解像度画像を後で高解像度に修正することはできません。

### ◆色のお話し



RGB  
パソコンモニター  
Word Excelなど  
デジタルカメラ

変換時に  
色ズレ!  
補正が必要



CMYK  
(商業印刷インキ)

下記、お願いします。

上記を回避する為にも以下のA B C 3点セット又はDを入稿を頂き、弊社で出力したものを校正して頂くことをお勧めします。

A : ワード等データ (お客様が作成したもの)

B : 画像データ (jpeg等) = ワードに配置した写真等の元データ

C : 出力見本 = お客様ご自身でデータをプリンター出力したもの  
(文字化けや写真の明るさなど、Aとの比較材料に出来る為。)

D : フォントや高解像度画像を埋め込む設定でPDF保存したデータ  
(=完全データとなり得ます。)

※設定方法は店頭にてご案内致します。